

事業費補助金調査票(表)

補助金名	良質米生産安定対策事業補助金
------	----------------

担当課	経済部 農政課					
科目・事業コード	会計	款	項	目	事業	
	01	06	01	02	20	— 26
事業名	病虫害防除事業					
新規・継続の別	継続					
補助・単独の別	市単					
補助の種類	事業					

R5実施計画額	1,477	千円
R4 予算額	1,477	千円
R3 決算額	1,477	千円
R2 決算額	1,477	千円
R1 決算額	1,477	千円
H30 決算額	1,477	千円
H29 決算額	1,421	千円

事業の趣旨・目的	水稲稲作農家を対象に、斑点米の発生源となるカメムシの防除に係る経費について補助することにより、良質米の安定生産と稲作農家の経営安定的発展を図る。			補助対象者	【補助対象者】	本事業の目的に即して、防疫事業の実施希望農家の調査、希望の取りまとめ及び薬剤の共同購入等を行う団体等。	
	開始年度	平成 16 年度			【補助対象経費】	使用薬剤 MRジョーカーEW、MRジョーカー粉剤 キラップジョーカー粉剤、キラップジョーカー乳剤 スタークル粒剤、スタークル液剤 スタークルDL粉剤、スタークル豆粒 キラップ粒剤、ラブサイドスタークル 上記、薬剤購入にかかる経費	
根拠法令等	(市)成田市農業振興等補助金交付要領 良質米安定対策事業補助金交付基準			補助率	【補助率】	・薬剤購入費の1/3以内	
留意事項					【国県等の補助率】	市単独補助事業のため、国県等の補助なし	
決算内訳	令和 3 年度決算額等 (単位:千円)			成果指標	【近隣自治体の補助率】	近隣自治体では、類似の補助事業を実施していない	
		金額	件数		割合	成果指標	(単位:ha)
	全体事業費	10,626				年度	数値
	うち市補助金	1,477			13.9%	令和3年度	2,491.3
	うち国補助	0			0.0%	令和2年度	2,897.5
	うち県補助	0			0.0%	令和元年度	2,227.2
自己負担	9,149		86.1%				

事業費補助金調査票(裏)

項目		担当課確認欄	
公益性	補助事業の趣旨・目的が公益性のある事業に該当する	ウ. 地域の経済・産業の振興, 雇用の促進に寄与することができる事業 に該当	
	市の総合計画に合致する	成田市総合計画の基本目標に掲げる、「元気な農林水産業を育むまちづくり」に合致する。	
必要性	補助事業の趣旨・目的が社会経済情勢や市民ニーズに適合する	はい	良質な米を生産するため実施するものであり、申込件数も多いことから、農業者のニーズに適合している。
	類似の補助事業はない	はい	
妥当性	特定財源控除後の補助率は1/2以下である	はい	主要作物である米を、病害虫被害から未然に防ぎ、良質米の安定的な生産を確保するため、補助水準を維持していく必要がある。
	近隣自治体と比較した本市の補助水準	高い	
明確性	個別の規則が整備されている	いいえ	
	個別の要綱等が整備されている ※規則が整備されていない場合	はい	
	要綱等に補助事業の趣旨・目的、対象者、対象経費、算定基準が明記されている	はい	
	成田市補助金等交付規則に基づき適正に交付している	はい	
有効性	補助金を交付することによる効果を明確に示す成果指標はあるか	はい	散布面積 R1:2,227.2ha R2:2,897.5ha R3:2,491.3ha
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	2,000ha以上の水田に散布されており、より多くの良質米が安定的に生産されたことから、本事業の有効性を確認できる。
補助対象外経費	成田市補助金等交付規則運用方針第10条各号に掲げる経費については、補助対象外としている (補助対象外経費) ・補助事業等に直接関わりのない人件費に係る経費 ・慶弔費及び交際費に係る経費 ・懇親会及び飲食に係る経費 ・慰労を目的とした旅費に係る経費 ・入場料等受益者負担で賄うべき経費 ・団体の資産形成(積立金等)につながる経費 ・その他補助することが適当でない認められる経費	はい	
最終評価	維持継続		
所見	<p>水稻の品質を低下させる斑点米の原因となるカメムシの防除として、水稻ヘリコプター防除とあわせて実施する農家も多い。水稻を病害虫被害から未然に防ぐことにより、良質米の安定的な生産と水稻農家の経営安定を図るため、今後も継続して補助事業を実施する。</p>		